



「喜びに溢れて」

歴代誌上一六章23〜27節

牧師 安藤 脩

昨年、わたしの標語聖句は「あなたの御言葉は、躍りました。」でしたが、皆さんの心は喜びました。喜びましたでしょうか？

去年は災害の多い試練の年でした。そのような中で、祈り、神のみ旨を求め、聖書を読まざるを得なかったのではないのでしょうか。

また、わたしたちの教会にとっても悲しく寂しいことが多くありました。初代牧師のご夫人や、5名もの教会員が召天されました。

試練や悲しみがあっても、みことばは私たちに確信を与え、御言葉が自分のものとなる時、心が喜び躍る体験をする事が出来ます。昨年の標語聖句はこの後も、永遠に継続されてゆくものです。そして今年の標語聖句は、喜び躍る内なる喜び

2012年春号
 日本キリスト教団
 横浜岡村教会
 〒235-0021
 横浜市磯子区
 岡村 4-25-39
 TEL.045(751)3917
 牧師 安藤 脩

を証へと結んで行くものです。

「全地よ、主に向かつて歌え。聖所に力は喜びがある。」(歴代誌上一六・23の前半と27の後半)

私たちが喜び躍ることは、神の願いであり、神の喜び給うことです。私たちは喜びに満ちた心で、喜びに満ちた礼拝を守りたいです。これが今年のビジョンです。当然のことではあります。礼拝が葬式のように静まっているばかりではさびしいです。礼拝は主にお会いする祭りです。どのようにすれば喜びに満ちた礼拝になるか共に求めてゆきましょう。

「聖所には力と喜びがある」とあります。旧約における聖所は、贖いの犠牲をささげる神殿です。イエス様は「この神殿を壊してみよ。三日で立て直してみせる。」(ヨハネ二・19)と言われました。これは御自身の復活を預言しています。そしてイエス様の復活は、贖いの犠

牲の完成です。もはや犠牲をささげる神殿は必要ではなく、イエス様のご臨在なされる教会が聖所です。教会にこそ私たちの力と喜びがあるのです。「神はわたしに力を帯びさせ」(詩編一八・33)。「わたしの主なる神は、わが力。」(ハバクク三・19)とあるように、復活のイエス様と共におり、交わる教会こそ力の源です。神を喜ぶことは力なのです。

私も昨年は声帯を犯され、声が出なくなりました。咽喉が癒されたら、思い切り、もつともつと讚美しようとの思いがありました。これも主の導きだったのだと思います。主は「全地よ。主に向かつて歌え。」と言われます。力一杯、主を讚美することは「日から日へ、御救いの良い知らせを告げ」ることになるのです。私たちが喜びに溢れて主を讚美する時、「国々に主の栄光を語り伝え」ることになるのです。

今年は、喜びに溢れた礼拝をささげ、更に力に満たされ、主を力一杯、讚美してまいりましょう。これこそ主の御救いの良い知らせを伝える業です。そうすればいつの日か、全地が、主をほめ歌うことでしょう。

証し

あなたの癌はきえてます

堀内 強美

私は、横浜岡村教会の直ぐ近くで「とんかつ屋」をやっています。横浜の井土ヶ谷から初めて四五年になります。洗礼を受けてから牧師さんが、店の従業員に災いが起こらないようにとか、繁盛するようにとか店の事までお祈りしてくれました。教会の事は良く知りませんでした。牧師との出会いは「堀内さん、出身は宮崎ですか。私は宮崎大学の出身です」が始めでした。その後、牧師から教会を移転する事になったので協力してくれないかという話があり思わずハイと返事をしました。これが洗礼をうけるキツカケでした。私はこれまで命を無くすような事を、八回も経験しました。最後の八回目が、癌でした。十八才で都会に出てきて信用を得るのは何かと考え、地盤も無く、カバンも無く、ただ一生懸命働く事だと考え、休みも無く四〇年間働きました。その結果が医師から「あなたは癌です」「余命三ヶ月です」と言われました。その時はさすがに頭が真白になりました。大腸癌で膀胱結腸を三〇センチとる手術でしたそのとき医師は、何れにしても大腸癌は転移しますとハッキリ言いました。それから十三ヶ月後に癌が肝臓に転移し

再度手術を行い肝臓癌をとりました。これで大丈夫かなと思っていたら今度は、肝臓と肺に転移していきますと言う事でした。三度目の手術を行う事になり相談の上、昨年十二月に横浜市大に行きました。検査のあと「先生、手術をしてください」と言うとき先生が画像を見て「手術をする必要が無くなったんだよ」「消えたんだよ」と言いました。肺は？肝臓は？手術をするものと気構えていたのに、ガツカリしてしまい、何故ですかと聞いた事を覚えています。しかし、この癌が消えたと言われる一ヶ月まえにある人が、病室に現れました。その方は、クリスチャンで家族でよく見舞いに来てくれる女性です。何か普段と違って「堀内さん、あなたの癌は消えています。千羽鶴はもう要らないです」と言って凄いい勢いでベットの上から周りまで取外してしましました。「聖霊様が堀内さんの癌は消えたと言いました」。画像を見なければ解らないじゃないか。でもあの方は治ったといっている。その後、病院で癌が消えたと言われるまで半信半疑でした。もし私だったら癌で入院している患者に、あなたの癌はもう消えたと言えるだろうか。その方は何故癌が消えたと解ったのか。その方は、熱心なクリスチャンです。

何時も私の事を祈ってくれていました。まだ洗礼を受けて半年位でした。この事を通して信仰は年月じやないと思いましたが、深さかなと思います。どれだけ深く信仰して、神様に伝え、相談し実行するかが一番大事だと思います。私は洗礼を受けてすぐ「アーメン」と中々言う事が出来ませんでした。ある時をキツカケにアーメンと言っていました。その時が、自分が神を信じて、この道で信仰を持つてやらなくてはならないと思った時でした。そして病気になるまで余命を告げられて、病院で三〇〇日入院し、畳二枚半のスペースで生きていました。その時、聖書を読む様になって少しは成長したのか、物に対する有り難さなど、全てに感謝の気持ちが多くなりました。退院して帰ったら従業員から「社長変わったね」と言われました。神様が変わって下さったのです。苦境に立った時、仕事に困った時、聖書を読むと解決策が書いてあります。私は将来「癌になって有難う」という本を書きたいと思っています。あつた〇〇日に聖書を読めたことは感謝です。誰が私を助けたのか。それはキリスト様だと確信し、感謝しています。

「信じて洗礼を受ける者は救われる」



富本文子姉召天
二〇一二年五月十二日

十ヶ月の入院の間、もう最期かと思われる時も何回かあった。でも不思議に守られ、妹の梅澤清子姉、最も親しかった谷口ふく姉が先に召された。もうこれで良いと納得したかのように、静かに召天された。享年九四歳

富本姉の思い出

池田 久子

昨年は五月に谷口姉、十一月に富本姉と続いて天国に召されました。今でも亡くなられたとは思われず、又お目にかかれるようで、懐かしさと寂しい思いが致します。

富本姉の葬儀の時の感話とかさなりませんが、三丁目に教会があった頃のこと、婦人会がある日はバスの時間を合わせて乗り、いつもご一緒させて戴いていました。学園前で降り衆芳園のそばの坂道をゆっくり休み休み、バラの花、花しよぶ、教会の庭に咲く四季折々の花を眺めながら、教会に行った楽しい思い出、富本姉は几帳面な方で、時間にゆとりをも

って出席されていました。時たま富本姉から「ケアプラザが休みでお風呂に入れないので、銭湯に一緒に行ってくださいませんか」と言う電話が入りました。お風呂の好きな私は喜んで入浴のお手伝いをしました。九十三歳まで信仰の道を歩まれた富本姉に励まされ、永いお付き合いを戴いたこと心から感謝いたします。

富本姉を偲んで

中嶋 照枝

私は自分の姉を頼って田舎から横浜に出てきて、ご近所の方の紹介で勤めだしたヘルムハウスというドイツ人が経営するホテルで、富本姉の妹の清子姉と知り合い、根岸橋教会へと導かれました。

富本姉は私が勤めだす前からヘルムハウスに勤めていらつしやり、時折、仕事帰りのバスでご一緒したり、若いころから友人のお姉さん、職場の先輩として知っていましたが、一家の大黒柱として働いていらつしやったので、教会でご一緒するようになったのはヘルムハウスを退職されてからです。

退職後、毎週教会に通ってこられるようになり、清子姉が千葉に引っ越されて

からは、時折用事のついでに富本姉の家を訪ねて、親しくおしゃべりするようになりました。私はなぜだか理由もありませんが、いつしか富本姉を「お姉さん」と呼ぶようになっていました。富本姉は働き者で、きれい好きで、面倒見の良い方でした。

お世話になった富本姉

内出 キミ子

私は知人の紹介で根岸橋教会を訪ね、クリスチャンとなりました。教会に通うようになり、富本姉と知り合いました。当時の私はたった一人で洋裁をして暮らしていました。そんな私を不憫に思っただ下さったのでしよう、富本姉はご自分がハウスキーパーとして勤めていた進駐軍の、将校ご一家の奥様を紹介して下さいました。その奥様の洋服を作らせていただくことになりましたが、日本人とは体型の全く違うアメリカの女性の服を作るのは初めてで、とても不安でした。でも、仮縫いに伺った時、その奥様がものすごく喜んで下さって、ホッとしてとても嬉しかったのを今でも覚えています。本当に富本姉にはお世話になり、感謝しています。



今年の標語聖句を
与えられて

「全地よ、主に向かって歌え

聖所には力と喜びがある。」

歴代誌上一六章23節、27節

今年の標語聖句を与えられ、各会など、各代表者が、喜びを語ってくれました。



カレブの会・標語聖句に想う

坂本 浩

一月の定例会にて今年の標語聖句をテーマに自由に意見を出し合いました。

「心から喜びに満たされた気持ちで聖所・礼拝に來ているのだろうか。単に習慣化されて惰性で出席しているだけではなかったかと考えさせられた。」「『教会に來なさい』と言われているように励まされた。歯切れのよい御言葉だと思ふ。」「神様は私たちが喜ぶことを望んでおられる。」「教会が賛美によって力と喜びに満ち溢れた場となるよう、カレブの会としてもこの一年の大きな課題したいと思います。」

今年の標語聖句を受けて

マリア会より 今給黎 美代子

マリア会の例会では、賛美と祈りと聖書の御言葉に養われて、神様の恵みを共に喜び、分かち合っています。今年は会員全員の愛唱賛美集を編集して、活用しました。今年の標語聖句を受けて、更にマリア会では、力一杯賛美をお捧げして、神様が与えられた新しい目標に向かって前進したいと思えます。教会の礼拝が力強い賛美で満ち溢れるように祈って行きます。

標語聖句を受けて

わかえだ会より 平野 耕太朗

今年の横浜岡村教会では、標語聖句を受けて特に賛美について考える信徒が多いですが、私達わかえだ会でも、礼拝の中での特別賛美への参加を通じて、盛り上げてゆきたいと考えています。特に今年からはベースの出来る及川兄も新たに加わりました。益々、私達若者の力が求められています。しかし何よりも、賛美を通じて神さまへの喜びと力が与えられ、なかなか教会に來られないメンバー達の

信仰が強められ、わかえだ会も定着してゆくことを祈って止みません。

今年の聖句

J C (ジュニアチャーチ) より

藤山 クニエ

二〇一二年を導く標語は、まさに地に住む私達に、主が願っているそのままが示されています。「全地よ、主に向かって歌え」と、命じておられます。いつでも、どんな時にも、何が起こっても、主に向かって歌って行きたいと思えます。賛美は力と喜びを与えてくれます。

聖所に集まる幼子は、教会の宝です。イエス様は幼子が大変喜ばれました。

J C の子供達ももっともっと大きな声で喜び賛美出来るよう、祈って行きたいと思えます。

標語聖句を書いて

役員会より 早園 貞子

二〇一二年の標語聖句は、私が書かせて頂く事になりました。

安藤先生から聖句を頂き、その内容を見た時、私の頭に中に会堂で皆さんが賛

「My footprint」とは

関口 猛

昨年、教会役員会において、ご自身が天に召された時の備えとして葬儀に関連する事柄を牧師又家族に伝えておく事が大切だとして用紙を配布しました。その書類のタイトルを「マイ フットプリント」(私の足跡)としました。一般に言う遺言書ではありません。自分がクリスチャンとして歩んだ足跡を、愛する方々に伝えることは大切な使命でしょう。この書類をつくることによって、家族と信仰のことを十分に話し合える時が与えられれば幸いと思います。

伝道部が書類とレジメを配布しました。大変わかりやすく丁寧に書かれていますので、内容を再読してください。葬儀は伝道につながる重要な機会でもあります。皆さんが天に召された後、残された家族の負担を少しでも軽減しておこうと言うことです。記入項目の、親族ほか連絡先、続柄、住所、電話番号は必要事項です。葬儀についての項は、どの様な希望があるか具体的に記入してください。項目の

中に、葬儀の規模、場所、葬儀社などがあります。忌憚無く希望を記入してください。愛唱歌は4曲記入できます。思いの多いものを選びたいと良いでしょう。感話、教会葬儀委員に一任するか、希望する方を記入されるとよいでしょう。略歴は、生年月日、信仰暦、出身地、学歴、職歴など思い出の多い項目です。参列者も、あなたの信仰生活と多くの思い出をふり取り、皆で良き時がもたれるはずです。愛する方々へのメッセージには、救われてほしい方につたえたい事、家族、親族、友人への感謝や希望を伝える場として用いてください。書類の作成には、ご家族と話合われる事も良き時となるでしょう。書類の提出先は牧師とし、提出時に複写をお渡しします。又、提出内容に変更が生じた時には牧師宛に連絡してください。書類作成に当たり、質問・確認のある場合は役員に相談して下さい。自分も、差し迫った訳でもなく、書類を作成する気持ちになっていないのが事実ですが、今の時点でわかる範囲で作成することの必要性を感じています。

美している姿が浮かびました。天に向かって両手を挙げている人、手を叩いている人、立ち上がっている人、それぞれが思いのまま心から神様を賛美している姿でした。

全体は楷書に近い書体で、「向かって」と「歌」は行書の書体で、その様子を表して見ました。役員として奉仕が出来、感謝です。(標語聖句は一年間講壇の横に掲げられます)

新しい年の初めに

聖歌隊より 安藤 善枝

標語聖句を読んだ瞬間、今年、今年、今年が充実する年だな、と思いました。現在、聖歌隊は二ヶ月に一度の賛美奉仕ですが、いや、聖歌隊だけではない、色々な方々が、信仰の証しとして、礼拝でどんどん賛美していいんだ、と思いました。礼拝は、神様と私達との応答であります。もっと積極的に、思いを神様に表わしていく年にして行きたいと思いをしました。



二〇一一年クリスマス テーマ「平和を祈る クリスマス」

クリスマス



二〇一一年は、東日本大震災が起こった年でした。横浜岡村教会では、日本の上に又、被災地の上に、大きな神様の慰めがあるように祈りながら、クリスマスを迎えました。

キャンドル・サービスでの集火

安藤 善枝

ロウソクの炎は私たちの祈りを集中させてくれます。キャンドル・サービスの最後に行われた集火はとも印象的でした。会衆全員のろうそくを「きよしこのよる」の奏楽を聞きながら、みなさん前に出てきて、講壇の前のテーブルに置きました。ページェントを行った子供たちが持つてきたビンキャンドルも並びました。百個近い炎が集められて、きれいにゆれていきます。

静かな祈りの時間が流れました。被災地の方々の事を思つてそれぞれが心から祈りました。



上:集火 下:子どもたちによるページェント

キャンドル・サービスに参加して

安藤 幸枝

十二月二四日、イエス様の御降誕をお祝いするキャンドル・サービスは、一年のうちで私が一番好きな日です。キャンドルの光と賛美は、忙しい日常で張り詰めた私の心を解き、心の底から穏やかさで満たしてくれます。暗闇で私達一人一人を照らしてくれたキャンドルは、礼拝の最後に賛美と共に集められ、更に明るく大きな光となって私達を照らしてくれました。とても美しい光でした。

私達の心を照らし、人生を照らしてくださる光であり、永遠の光であるイエス様、神様を信じて私は、これからも歩んで行きたいです。

クリスマスのイルミネーション を新しくして

井上 義勝

二〇一一年のクリスマスツリーの飾り付けは、カレブの会に任せられ、イルミネーションでツリーを作ることになりました。LEDイルミネーションとダビデの星等一式を買い揃え、点灯式の一週間前に取り付けました。素晴らしい出来栄に満足しました。

点灯式から公現日まで横浜岡村教会周辺地域に、クリスマスのシンボルとして輝き続け、イエス様の御降誕をお祝いすることができました。この新しいクリスマスツリーを与えられ、主の恵みに感謝致します。



新しいイルミネーション

スポットライト係をして

六年 坂本 晴哉

一昨年まではヨセフの役や星の係であるべくセリフの少ない役にしてもらいましたが、やはり苦手でしたので今回はスポットライトの担当を引き受けました。最初はどうしていいかわからず打ち合

わせもあまりできず少し不安でしたが、スタツフの平野さんとリハーサルをしてやり方が分かってきたので、少しだけやる気が出てきました。

スポットライトの操作は、思ったよりも簡単にできてよかったです。僕はこういう係の方が好きだし自分に合っているんじゃないかなと思います。

イエス様の誕生を楽しい気持ちで祝えてよかったです。



井上角治兄召天
二〇一二年十二月二八日

うつ性腎不全、心不全により、聖隷横浜病院に急遽入院さる直前まで、礼拝に出席し、食欲も旺盛であった。奇跡的に快復を得、退院間近と思えたが肺炎を併発し、急ぎ足で召天された。残された井上兄姉の状況から察して、子孝行の麗しい時だったのだと思わされた。享年八八歳

父の葬儀

井上 鈴枝

あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ。

ヨハネ福音書十五章16節

十二月二十八日に召天した父角治の葬儀は二十九日、三十日と行われました。年末の忙しい時期にも関わらず、教会の兄弟姉妹、ご近所の人、他にも多くの方々に参列して頂きました。父の故郷山形の親戚も駆けつけてくれました。親戚はキリスト教の葬儀に参列するのは初めてで、少し興奮気味のようでした。

二十九日の前夜式が終わり、その夜は山形から来てくれた父の弟や妹達、義弟の五人が、我が家に泊まり、葬儀に感動したことなどを話しました。祭壇には沢山の花が飾られ、父の顔は花に囲まれ綺麗だったと喜んでいました。

メッセージの中で安藤牧師が、父の横浜での苦悩、父の弟への哀れみを示してくれたことに、弟は深く感銘し、過去の確執も恵みに変わったようです。又、親戚の者は、まるで結婚式のようなとも言っていました。この葬儀によって参列した親戚、一般の方々が教会へと導かれますように。

いずみ工房の働きを終えて

間宮 富子

「いずみ工房」は、会堂建築資金を目的として、二〇〇二年五月に発足しました。教会債も二〇一一年十月の返済をもって完済。二〇一一年十二月、会堂維持会計へ最後の献金を致し、働きを終えました。クリスマスカード、グリーティングカード、様々な小物などの作品を制作。又、デザート類、キムチ、マーマレード、ジャムなどの手作り食品も作られました。二〇〇七年より、安藤華舟作のカレンダー、一筆箋等を販売し、著者割引二〇％が、大きな売り上げとなりました。そして、地区集会、バザー、教会内等で販売致しました。その間に八回、八九万六〇五〇円を会堂建築資金として献金出来ました。兄弟姉妹一人一人の賜物が生かされ、主に木曜日の午後製作しました。今は、天に召された姉妹達と共に、楽しく良き交わりの中で製作した時の事が、良き思い出として甦ってきます。

奉仕を共にし、支えてくださった兄弟姉妹の一人お一人に感謝致します。今は亡き谷口姉は、発足当初より八年もの長い間、会計の奉仕を担ってくださいました。



JCの窓 (ジュニアチャーチ)

「三教会子ども交わり会
に参加して」
ジュニア・チャーチ
小三 大柳 れな

私は、三教会子ども交わり会に初めて参加しました。一番楽しかったのは、好きな聖書の箇所を決めて、その文字を新聞紙から切り取って、紙にはって行くゲームです。私たちのグループは、あまり出来ませんでした。チームワークは良かったと思います。もっと楽しかったのは、その後の「みぎわさん」のコンサートを見た事です。みぎわさんの歌声は、



みぎわさんのさんび

とても美しかったので、感動しました。私も今学校でやっている合唱隊の成果を出して、被災地や貧しい国の人、大変な思いをしている人たちに、歌で元氣を送りたいです。私ももっと歌を上手になれるようにがんばりたいです。とても楽しい一日になりました。

- ### 3～5月行事予定
- 3月**
 2日 世界祈祷日 (カトリック菊名)
 4日 世界祈祷日礼拝(JC・一般合同)
 11日 聖餐式
 18日 横浜地区集会・総会 (磯子)
 24日 田崎宅家庭集会
 21日 三教会交流統一課題祈祷会
 30日 藤山宅家庭祈祷会
- 4月**
 1日 棕櫚の主日 (洗足礼拝)
 2～7日 受難週祈祷会
 6日 受難日燭火礼拝
 8日 イースター礼拝・餅つき会
 17日 田崎宅家庭集会
 27日 藤山宅家庭祈祷会
 29日 定期教会総会
- 5月**
 3日 こころの友伝道関東大会 (新宿西)
 13日 JC母の日親子礼拝
 15日 三教会交流委員会 (横浜菊名)
 17日 主の昇天日
 22日 田崎宅家庭集会
 25日 藤山宅家庭祈祷会
 27日 聖霊降臨日(ペンテコステ礼拝)
 (毎月第1主日 聖餐式、役員会)
 (毎月第4主日 各会の定例会)

集案案内

●イースター礼拝
四月八日(日) AM 10:30より
礼拝後、おもちゃつきをします。
どなたでも、おいでください。



●春のランチョン 六月九日(土)
ゲスト・大和田広美さん
1歳9ヶ月で麻疹により失明。4歳でピアノを始める。大学入学を機にオリジナル曲を書き始め、特別賛美をするようになる。シンガーソングライター。(本郷台キリスト教会会員)友人、家族を誘っておいでください。

編集後記

「東日本大震災」から一年がたちました。悲惨な状況は、人々の心に多くの悲しみと絶望を与えました。しかし、多くの所で力強く立ち上がっています。自然と原子力による被害は人間だけの知恵では立ち向かえない事を感じました。被災した各教会が神様を見上げてガンバっています。私達も神様によって力を出さなければならぬ時です。
(moh)